



い、それぞれの地域に残っている伝統行事について楽しく学び合うことができた。このお祭り調べの学習から、これからも伝えていきたい地域の伝統と文化について、子どもたちの興味関心が高まったと感じる。

#### 4年生 「ぼくたち地球防衛隊」

ごみ処理とその再利用の課題、水の浄化作用等の社会科学習と関連させて、総合的な学習の時間には、自分たちが環境保全のためにできることを考え、実践することに取り組んだ。ごみ焼却場や不燃物の埋め立て場、リサイクルセンターなどの社会科見学を通して、金沢市が抱えるごみ問題について理解を深めた子ども達は、クラスごとに紙や生ゴミ、金属などの様々なグループに分かれ、ごみを減らすために自分たちにできることを調べた。調べたことはクラスで発表した後、授業参観でお家の人や地域の方々にも伝えた。「ぼくたち地球防衛隊」の学習を通して、現在学校で取り組んでいるエコ活動や、これからできる家庭での取り組みに関心を高め、この千坂校区から地球環境を守っていくのだという意識を育てることができた。

#### 5年生 「千坂の宝！加賀レンコン」

5年生では、3年生で学習済みである加賀レンコンの良さや現状を思い出し、加賀レンコンを守るために今年度は地域に良さを直接アピールできないか考え、実行することにした。まず、農家の方から休耕田をお借りして、本格的なレンコン栽培にチャレンジした。そして、収穫したレンコンを「どっこいしょ～レンコンフェスティバル」というイベントを開きそこで販売する計画を立てた。販売だけでなく、試食コーナー、効果など良さを伝えるコーナー、レンコンゲームコーナー、ゆるきゃらショーなどレンコンを様々な方法でアピールするイベントで、当日は多くの地域の方とふれあうことができた。子ども達もますますレンコンや地域への愛着を深めることができた。



#### 6年生 「いいね金沢 ユネスコ・クラフト創造都市」

自分達の住む金沢についてより詳しく知るために、1学期には「百万石まつり」「金沢の名所」等について自分のテーマを設定し、調べ学習を進めた。調べたことをPower Pointや新聞にまとめ、発表を行った。また、2学期には、金沢が「ユネスコ・クラフト都市」に認定された意味を考えたりすることで、さらに金沢を見つめ直した。金沢の伝統工芸の中から一つ選び、良さや努力などについて調べたことを新聞にまとめて伝え合った。児童は、4年生の時にも伝統工芸について学習していたのだが、今回さらに詳しく調べたことで、金沢についてより親しみをもつようになった。その後、これからの金沢をどんな町にしていきたいかを考え話し合った。北陸新幹線が開通することで、全国的にも注目されているふるさと金沢だが、伝統を守りながら発展して欲しいというふりかえりを書いている児童が多かった。

#### 児童会の取り組み

環境委員会では、学校エコプロジェクトの一環として古紙回収に取り組んできた。紙はゴミではなく、資源であるという意識のもとに地球防衛隊を結成し、集会やテレビ放送で呼びかけを行った。回収した古紙はトイレトーパーに交換してもらい、児童に見える形で意識の向上をはかってきた。その他にも、エコ7箇条チェック週間やエコクイズラリーを行い、日常的にエコ活動を行ってきた。その成果が認められ、今年度は「学校エコギフト大賞」を受賞することができた。

## 2 成果と課題

ユネスコスクール加盟4年目であり、総合的な学習の時間を中心としたESDも定着してきた。今年度は昨年度の課題であった、地域へ直接発信する機会を持つため、5年生の学習で地域へ加賀レンコンを直接アピールすることができ、学校と地域との絆も深めることができた。フェスティバルに来られた地域の方や保護者からは、来年度も継続してほしいと多数の声が寄せられており、今後も継続した取り組みにしていきたい。その他、低学年では学習の成果を学年間交流、中学年では保護者へ向けて発信することができた。

しかし、全学年が学習の成果を発信できたわけではない。「知る・関わる・考え行動する・広める」の4つの学習過程を大切に、それぞれの学年で学習したことを直接発信したり、ホームページで積極的に発信するなどして、学校全体で取り組んでいきたい。